

修了者の声

「訓練修了日がもう間近という感じで、率直な感想をお願いします。」

先輩方もおっしゃっていたのですが、あつという間というのが率直な感想です。

訓練内容が非常に濃く、気づいたら9月10月と過ぎてしまっていました。いい意味で慌ただしかったですし、気持ちに緊張感がありました。授業や就職活動なども本当にあっという間でした。

「訓練は楽しかったですか？」

楽しかったです。中学校や高校とは違って、実際に社会に出た方や10代の方などさまざまな一緒に学べるというのは訓練校だからなのかなと感じました。業界の話など聞けることが勉強以外というところでの面白さがありました。

「特に幅広い年代の方がいる中で協力して、訓練に取り組みましたか？」

先生がよくおっしゃっていたのが、「年齢関係なく、同じ時期に入ってきた仲間たちなのだから、みんなで一からスタートライン」その言葉通り男性や女性、年齢関係なくできました。

「職業訓練を知ったきっかけは何ですか？」

これからの就職先など改めて考えていた時に、住宅や店舗などに関われる業種は何かと思いましたが、メディアや雑誌などで左官の職人さんなどを見たのをきっかけにどという業種なのかしっかり学びたいと思いました。インターネットで「左官 学校」と検索して調べ職業訓練を知りました。いくつか候補がありました。1年コース、2年コースやほかの県の学校も考えました。その中で 6か月



という短くもなく長くもない期間だったこと、その仕事をしたことのない状況でも勉強ができるという点で、訓練校に決めました。

「学校生活の中の思い出は何がありますか？」

学校では授業だけかと思っていたら、一般の左官屋さんやショールームに行ったり、技能大会に行き実際に職人さんなどの技術を目の当たりにして緊張感などを味わうことができました。

見学会に参加したときはただただすごいなと感じていただけなのですが、実際に左官を学ぶようになって、職人さんの技術を真似しようとしてもできないのは実感できましたし、職人の世界は長い年月をかける世界だと校外学習に行っただけで感じました。授業の環境で行けたのはよかったです。

また、校外学習だけでなく、匠の技展などイベント情報もわかるので、すくすく行きやすかったです。

「訓練の中で苦労したこと、大変だったこと何がありますか？」

先生がはじめに一通り説明してくれていたのですが、私自身理解しながら、聞いていくのがすくすく苦手でした。自分のペースに戻ったときに頭の中で流れを理解していくことが一番難しかったです。ペース戻っていきやろうとしても重要な部分だけ覚えただけで、流れが入っていなかったことが多かったです。

結局1回で道具の準備ができていなくて、取りに戻ったことで2度手間になり、時間をロスしてしまうことがありました。なので、流れを把握するというのが難しかったです。

技術面では、クロス張りではクロスがすぐ破けてしまったこと、タイルが硬そうに見えて意外と割れやすかったことなど材料に慣れるまでの扱い方に苦労しました。

「就職活動の取り組み方や苦労したことについて教えてください。」

左官に行きたいというのは決まっていたのですが、どの会社にしよ
うか、1ヶ月から1ヶ月半悩んでい
るなかで、ハローワークに行き、い
くつかピックアップしたり、学校に
来た求人の中で実際に電話を掛け
たりしました。最終的には3、4社
の方とお話して決めました。

求人だけではわからない部分も
あったので、そこを調べるのはすこ
く苦労しました。

実際にハローワークなどを通し
ながら電話してみても話を聞いたり、
そこから直接会社のほうに出向い
たりして、就職活動をしました。

電話の際などは仕事内容を重視
して聞きました。

「就職活動はいつ頃始めたのです
か? (6月入校生の場合)」

9月末には方向性を決めて、10
月末には始められるようにと言わ

れていました。

面接自体を始めたのが11月の
技能祭あたりでした。

担当の先生や講師の先生「お、
かっちりとした練習ではな〜と
いうことを聞かれるのか、また
過去の先輩たちの面接情報など
を教えてください、就職活動とい
うとスーツなどの服装だと思っ
たのですが、職人の業界なので、迷
う部分もあり、そういう部分も確
認しました。

就職支援室には自分で書いた
履歴書を提出して、それに合わせ
て、面接や履歴書の添削などして
もらいました。

「今後、城東センターで学んだ
技術をどう活かしていきたい
ですか?」

いろいろな人の技術を常に見る
ことができ、その中で吸収した技
術を活かしていきたいです。

男性がメインにみられがちな
業界です。「女性も活躍してい
るよ」と先生から言われてもまだよ
くわからなかったのですが、自分

が目指したいものはわかってきたかな
と思います。

最初は、左官のデザインに携わって
みたいと思っていたのですが、今では
基本の外装、内装、下地を中心に学び
たいと思っています。

「最後に、住宅内外装仕上科に入校を
希望している方やまだ迷っている方
に一言お願いします。」

まずは、楽しいです。たとえ、自分
ができなくても、ちゃんと授業に向き
合い取り組めば、講師の先生は教えて
くださるので、安心して入校してい
と思います。今まで土木関係に触った
ことない後輩なんかもたくさんいるの
で大丈夫です。

力仕事もあるけれども、この業界で
やっていけるかどうかというのを知る
ことができるので考える機会だと思
います。

また、いろいろな講師の方々の技術
をこの6か月間で知れるというのはす
ごい機会だと思います。



「仕事のほうもこれから大変だと思うの
ですが頑張ってください。本日はあ
りがございました。」

はい、ありがとうございます。